

JR東海労なごや

2008年12月3日 No. 753
JR東海労名古屋地方本部
発行者：丹羽成生
編集者：教宣部

本人の意志を無視した駅還流反対!

会社は、11月22日に豊橋運輸区分会書記長に対して駅還流の発令を行った。この発令は、豊橋運輸区の要である書記長を職場から放逐し、東海労を破壊するための攻撃に他ならない。

東海労は、こうした会社の攻撃は断じて許さない。会社は言うであろう「総合的な判断で決めた」と。総合的という言葉は、とても都合のいい言葉だ。具体的な個別の理由を一切明らかにしなくてもいいからだ。会社の狙いを消し去ってしまう。

会社の狙いは、明らかである。運輸区職場からあらゆる手段で、東海労組合員を放逐することだ。そして、東海労組織の影響力をなくし、組織を破壊していくことである。

JR東海会社の駅還流は、将来が明確になっておらず、本人に大きな不安を与えており大きな問題である。本人の意志を無視した移動に、多くの社員は、自分は将棋の駒であると思っている。なんの思いやりもない会社に、未来はない。

東海労は、今回の事態を許さず、さらに闘いを進めていく。

団結して闘うぞ!

